

心臓血管外科病棟における術後の 服薬コンプライアンスの検討

この研究に関する科学的・倫理的妥当性については、当院の「臨床研究審査委員会」で審議され、その実施について病院長より許可を得ています。この研究の実施期間は、2019年7月29日から2019年11月30日までを予定しています。

【研究の意義・目的】

小倉記念病院では、入院時に薬剤師と看護師により入院前の服薬で飲み間違いや飲み忘れがないかを評価（服薬コンプライアンス）する内服自己管理アセスメントシートを作成し、服薬が正しく行えているかを評価しています。

心臓血管外科病棟では、入院前に服用していた薬剤の内容が手術後に変更となる場合が多くあります。そのため、手術後に薬の飲み間違いや飲み忘れなどが起こる可能性が高くなることが問題となっています。その防止対策として、内服薬を用法ごとにまとめた一包化への服用方法の変更は有用であると考えられます。

そこで今回、薬剤師の提案により一包化を行った患者さんの服薬コンプライアンスを評価することで薬の飲み間違いや飲み忘れ防止への効果について調査を行います。

【研究の対象】

小倉記念病院において2018年10月1日から2019年3月31日の間に、心臓血管外科病棟において手術を施行し、退院した患者さんを対象としています。

【研究の方法および情報の取扱い】

ご提供いただく情報は、年齢、性別、持参薬、手術後の内服薬の一包化の有無、服薬状況を評価した内服自己管理アセスメントシートなどです。これらの情報は、通常の診療で得られた診療記録より抽出しますので、新たに身体的及び経済的負担が生じることはありません。

得られた情報は、個人情報漏えいを防ぐため、お名前、住所などの個人を特定する情報を削除した上で研究用の番号で管理し、当院の研究責任者・波多江 沙織の責任の下、保管・管理されます。また、本研究の結果について学会発表や論文掲載等を行う際は、個人が特定できる情報が含まれないようにした上で、公表します。

【利益相反について】

この研究は特定の研究者や企業の利益の為に行うものではありません。また、この研究により患者さんの利益（効果や安全性など）が損なわれることもありません。

【連絡・問い合わせ先】

この研究や個人情報の取扱いに関するご質問やご相談等がありましたら、下記の連絡先までお問い合わせください。またご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財

産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することができますのでお申し出ください。

なお、対象となる患者さんの情報がこの研究に用いられることについて、患者さん（もしくは患者さんの代理人）にご了承いただけない場合には、研究対象としませんのでお申し出ください。その場合でも診療上の不利益が生じることはありません。

連絡先：

小倉記念病院 薬剤部 担当者 波多江 沙織
〒802-8555 北九州市小倉北区浅野三丁目2番1号
電話 093-511-2000（代）